

平成 25 年度 生活保障に関する調査 質問票および単純集計結果

平成 25 年 4 月

全体 N : 4,043
男性 N : 1,769
女性 N : 2,274

単純集計結果は、全体（ゴシック体）、男性（カッコ付）、
女性の順に掲載している。〔単位：%（平均値を除く）〕

Q 1〔回答票 1〕ここに公的保障に対する考え方があげられていますが、1つ1つについてあなたご自身のお考えをお聞かせください。お答えは（ア）から（エ）の中から1つ選んでください。

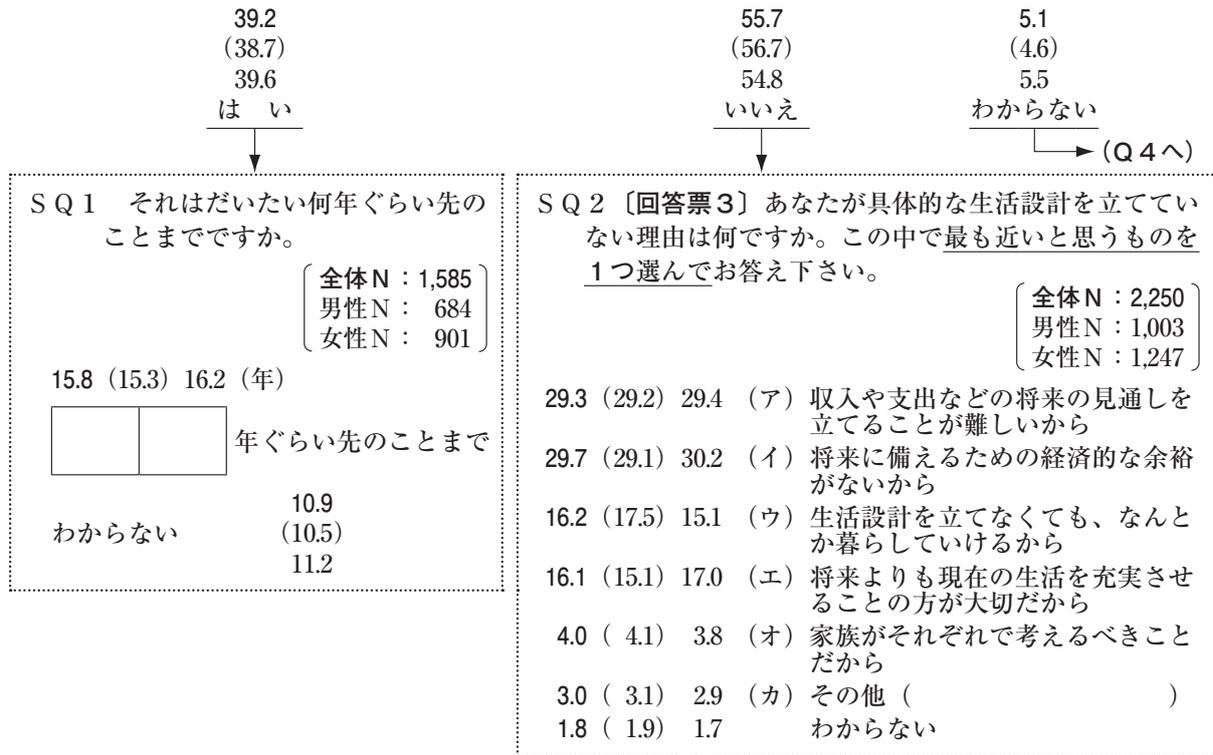
	(ア) ま つ た く そ う 思 う	(イ) ま あ そ う 思 う	(ウ) あ ま り そ う は 思 わ な い	(エ) ま つ た く そ う は 思 わ な い	わ か ら な い
(1) 自分の医療費は、今後も公的な健康保険だけで大部分まかなえる……………	7.3 (8.9)	37.1 (37.3)	36.2 (34.5)	15.7 (15.7)	3.7 (3.7)
	6.1	36.9	37.5	15.7	3.7
(2) 自分の老後の日常生活費は、公的年金でかなりの部分をまかなえる……………	2.8 (3.6)	15.8 (18.3)	40.5 (41.1)	38.2 (34.3)	2.7 (2.8)
	2.2	13.8	40.0	41.3	2.7
(3) 自分が将来寝たきりや認知症になった場合の費用は、公的介護保険で大部分まかなえる……………	1.7 (2.1)	7.3 (9.1)	41.1 (42.7)	41.6 (37.5)	8.3 (8.5)
	1.5	5.8	39.8	44.8	8.1
(4) 自分が万一死亡した場合は、遺族の生活は遺族年金等の公的な保障で大部分まかなえる……………	4.1 (3.7)	18.4 (17.5)	34.9 (37.5)	33.2 (33.4)	9.4 (7.9)
	4.4	19.1	32.9	33.0	10.6

Q 2〔回答票 2〕あなたのご家庭で現在経済的に準備しているものなかで、特に重要と考えているものは何ですか。この中から3つまでお答えください。(M.A.)

29.4 (45.4)	17.0	(ア) 自分が万一の際の遺族のための経済的準備
22.0 (12.2)	29.6	(イ) 配偶者が万一の際の遺族のための経済的準備
43.3 (48.3)	39.4	(ウ) 自分が病気やケガで入院した場合の経済的準備
25.5 (13.7)	34.7	(エ) 配偶者が病気やケガで入院した場合の経済的準備
23.2 (24.3)	22.3	(オ) 自分が寝たきりや認知症になった際の介護資金の準備
11.8 (7.4)	15.3	(カ) 配偶者が寝たきりや認知症になった際の介護資金の準備
23.5 (23.0)	24.0	(キ) 自分や配偶者の老後の生活資金の準備
12.0 (14.6)	10.0	(ク) 自分が障害等により就労困難・不能となった場合の経済的準備
6.7 (3.6)	9.1	(ケ) 配偶者が障害等により就労困難・不能となった場合の経済的準備
18.7 (16.8)	20.2	(コ) 子どもの教育資金の準備
2.9 (2.6)	3.2	(サ) 子どもの結婚資金の準備
2.5 (2.7)	2.3	(シ) 自分の結婚資金の準備
3.0 (3.0)	3.0	(ス) 住宅資金の準備
4.0 (4.4)	3.7	(セ) 教養・娯楽資金（旅行、趣味、レジャーなど）の準備
2.7 (3.0)	2.6	(ソ) 耐久消費財（車など）の購入資金の準備
0.8 (0.8)	0.7	(タ) その他 ()
11.9 (13.7)	10.5	(チ) 経済的準備はしていない
1.6 (1.8)	1.4	わからない

(全員に聞く)

Q 3 あなたは、ご自身やご家族の将来をどのようにしたいか、そのための経済的な準備をどうしたらよいかといった、具体的な生活設計を立てていますか。



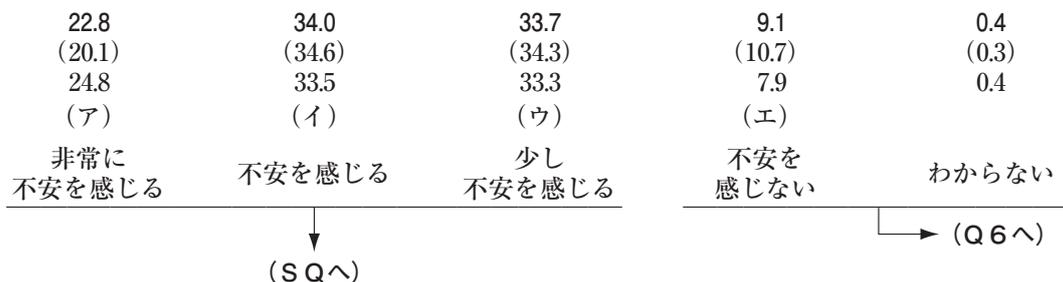
(全員に聞く)

Q 4 [回答票 4] ここに、生活保障について、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、B どちらの考え方に近いでしょうか。なお、ここで言う生活保障とは、老後の生活資金や万一の際、病気・ケガなど不測の事態のために経済的に備えることとします。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	Aに近いかといえ	どちにかといえ	どちにかといえ	Bに近い	わからない
	Aの考え方		Bの考え方		
A : 私的な生活保障の準備は、現在の生活を切りつめてでも、自ら準備すべきである	35.4 (36.9)	32.0 (29.5)	11.9 (12.4)	17.6 (18.6)	3.1 (2.7)
	34.2	33.9	11.6	16.8	3.4
			B : 私的な生活保障の準備は、現在の生活を切りつめてまで、自ら準備する必要はない		

ここからは、ケガや病気に対する備えについておうかがいたします。

Q 5 [回答票 5] あなたは、ケガや病気により健康を害することについて、どの程度不安を感じていますか。



(Q5で(ア)～(ウ)のいずれかを答えた人に)

SQ〔回答票6〕 それでは、具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつかでもお答えください。(M.A.)

全体N：3,659 男性N：1,574 女性N：2,085	44.9 (42.3)	46.9	(ア)	公的医療保険だけでは不十分なこと
	55.5 (54.5)	56.3	(イ)	長期の入院により医療費がかさむこと
	21.4 (19.6)	22.7	(ウ)	公的医療保険のきかない差額ベッド代が自己負担費用としてかかること
	33.7 (29.2)	37.0	(エ)	公的医療保険のきかない先進医療の技術料が自己負担費用としてかかること
	18.6 (16.1)	20.6	(オ)	家族の見舞いや看護など様々な付随的な費用がかかること
	29.8 (28.4)	30.8	(カ)	現在の経済的準備では必要となる費用がまかなえないこと
	35.0 (35.5)	34.6	(キ)	障害等により、就労困難・不能となること
	30.0 (29.3)	30.5	(ク)	治療が長期にわたり収入が途絶えること
	34.4 (32.4)	35.8	(ケ)	三大疾病であるガンや心疾患、脳血管疾患にかかること
	19.0 (20.1)	18.1	(コ)	肝硬変や高血圧症、糖尿病などの慢性疾患にかかること
	36.4 (37.2)	35.8	(サ)	不慮の事故にあうこと
	36.6 (30.9)	40.8	(シ)	後遺症や障害が残ること
	15.0 (11.8)	17.4	(ス)	適切な治療が受けられるかどうかわからないこと
	44.3 (34.9)	51.4	(セ)	家族に肉体的・精神的な負担をかけること
	20.0 (20.9)	19.3	(ソ)	入院前と同じように仕事に復帰できるかどうかわからないこと
	0.6 (0.8)	0.4	(タ)	その他 ()
0.8 (0.8)	0.9		わからない	

(全員に聞く)

Q6〔回答票7〕 次にあげる公的医療保険制度に関する項目について、あなたのお考えに近いものをそれぞれお答えください。

(1) 公的医療保険の保険料は

2.2 (3.2)	16.4 (20.2)	45.4 (44.4)	26.6 (23.9)	9.4 (8.3)
1.4 (ア)	13.5 (イ)	46.2 (ウ)	28.6 (エ)	10.3
安 い	どちらかといえば安 い	どちらかといえば高 い	高 い	わからない

(2) 公的医療保険の給付内容は

4.5 (5.7)	33.9 (36.1)	33.8 (32.6)	11.8 (10.9)	15.9 (14.8)
3.6 (ア)	32.2 (イ)	34.8 (ウ)	12.6 (エ)	16.8
充実している	どちらかといえば充実している	どちらかといえば充実していない	充実していない	わからない

Q7〔回答票8〕 ここに、ケガや病気で治療や入院されることになった場合の備えについて、A、B2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、Bどちらの考え方に近いでしょうか。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	Aに近 い	ど Aに近 いかといえ ば	ど Bに近 いかといえ ば	Bに近 い	わ かり ない
Aの考え方					Bの考え方
A：自助努力で準備していくよりは、今より高い保険料や税金を払ってでも公的医療保険を充実してもらいたい	19.8 (21.4)	23.0 (22.7)	22.6 (21.8)	28.4 (29.3)	6.2 (4.8)
	18.5	23.3	23.2	27.7	7.3
					B：公的医療保険の充実のために今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい

Q 8 あなたは過去5年間に、ケガや病気で入院されたことがありますか。ただし正常な妊娠や分娩のための入院は除いてお答えください。

15.2 (16.8)	84.8 (83.2)	0.1 (0.1)
13.9	86.0	0.1
入院したことがある	入院したことはない	わからない

(Q 9へ)

S Q 1 [回答票9] 過去5年間の入院の中で、一番最近の入院経験についておたずねします。一番最近の入院は、今からどのくらい前のことですか。

全体N : 613 男性N : 297 女性N : 316	35.1 (35.7)	34.5 (ア)	1年以内
	37.2 (34.3)	39.9 (イ)	1年超～3年以内
	26.9 (29.6)	24.4 (ウ)	3年超～5年以内
	0.8 (0.3)	1.3	わからない

S Q 2 その一番最近の入院では、何日間入院しましたか。

19.7 (21.1)	18.4 (日)	0.8 (0.0)
		1.6
約 <input type="text"/> 日間入院した		わからない

S Q 3 [回答票10] (1) その一番最近の入院で実際に掛かった費用は全部でおよそいくらぐらいでしたか。治療費・食事代・差額ベッド代に、交通費（見舞いに来る家族の交通費も含む）や衣類、日用品なども含めてお答えください。高額療養費制度を利用した場合は、利用後の金額をお答えください。

* 高額療養費制度は、長期入院や治療が長引く場合などで医療費の自己負担額が高額となった場合に、一定の金額（自己負担限度額）を超えた部分が払い戻される制度です。

22.7 (24.8)	20.8 (万円)	4.6 (5.4)	12.6 (13.8)
約 <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円		3.8	11.4
		掛かった費用はない	わからない
(2) また、その一番最近の入院により失われた収入はおよそいくらぐらいでしたか。			
28.7 (35.5)	22.5 (万円)	56.9 (56.6)	16.0 (16.8)
約 <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円		57.3	15.2
		失われた収入はない	わからない

(S Q 3でいずれかの金額を回答した人に)

S Q 4 [回答票11] その一番最近の入院で実際に掛かった費用や失われた収入をどのような手段でまかないましたか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体N : 521 男性N : 248 女性N : 273	60.1 (58.1)	61.9 (ア)	民間の生命保険会社や郵便局、J A (農協) などに取り扱っている生命保険の医療・疾病関係の特約や医療保険 (ガン保険など、特定の病気を対象とするものを含む)
	6.7 (6.9)	6.6 (イ)	損害保険
	36.1 (38.7)	33.7 (ウ)	預貯金
	0.0 (0.0)	0.0 (エ)	株式・債券などの有価証券
	4.2 (5.2)	3.3 (オ)	企業の見舞金や休業補償
	16.7 (9.3)	23.4 (カ)	家族の収入
	6.5 (7.3)	5.9 (キ)	その他 ()
	0.8 (1.2)	0.4	わからない

(S Q 6へ)

(S Q 5はS Q 4で (ア) と答えた人に)

S Q 5 それでは、生命保険の医療・疾病関係の特約や医療保険の給付金でまかなった金額は、入院で実際に掛かった費用や失われた収入全体の中の何%ぐらいでしたか。

全体N : 313 男性N : 144 女性N : 169	72.9 (74.3)	71.7 (%)	22.7 (21.5)
			23.7
	約 <input type="text"/> %		わからない

(SQ6はSQ4で(1)～(8)のいずれかを答えた人に)

SQ6 [回答票12] その一番最近の入院で掛かった費用に関して高額療養費制度を利用しましたか。

全体N : 521 男性N : 248 女性N : 273	34.0 (32.3)	35.5 (ア)	高額療養費制度の現物給付 (自己負担限度額分のみを支払った) を利用した
	20.9 (19.4)	22.3 (イ)	高額療養費制度の現金給付 (差額分の払い戻しを受けた) を利用した
	35.5 (37.5)	33.7 (ウ)	高額療養費制度は利用しなかった (高額療養費制度が適用されない金額だった)
	2.3 (2.4)	2.2 (エ)	現在、高額療養費制度の利用を申請中、もしくはこれから申請する予定
	7.3 (8.5)	6.2	わからない

(全員に聞く)

Q9 [回答票13] あなたのご家庭では、あなたご自身がケガや病気で治療や入院されることになった場合に備えて、公的医療保険以外で、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。(M.A.)

70.5 (68.6)	72.0 (ア)	民間の生命保険会社や郵便局、JA (農協) などで取り扱っている生命保険の医療・疾病関係の特約や医療保険 (ガン保険など、特定の病気を対象とするものを含む)		
		19.5 (22.6)	17.1 (イ)	損害保険
		38.3 (37.3)	39.1 (ウ)	預貯金
		5.1 (5.8)	4.5 (エ)	株式・債券などの有価証券
		0.6 (0.8)	0.4 (オ)	その他 ()
		15.9 (17.1)	14.9 (カ)	特別な準備はしていない
1.3 (1.5)	1.2	わからない	→ (Q10へ)	

SQ (Q9で(ア)～(オ)のいずれかを答えた人に)

[回答票14] 今お答えいただいた現在の備えと公的医療保険や企業保障などをあわせると、医療費に対する準備は十分だとお考えですか。

(Q9で(カ)と答えた人に)

[回答票14] では、公的医療保険や企業保障などで、医療費に対する準備は十分だとお考えですか。

全体N : 3,989 男性N : 1,743 女性N : 2,246	6.8	31.1	41.2	13.6	7.2
	(7.5)	(33.4)	(39.2)	(12.7)	(7.1)
	6.4	29.3	42.8	14.3	7.3
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	十分	どちらかといえ	どちらかといえ	まったく	わからない
	足りている	足りている	足りない	足りない	

(全員に聞く)

Q10 [回答票15] あなたは、ご自身がケガや病気で治療や入院されることになった場合に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

7.2	15.4	44.6	29.5	3.3
(6.8)	(15.8)	(44.0)	(30.2)	(3.2)
7.5	15.1	45.2	28.9	3.3
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
すぐにも	数年以内には	特に時期は決めていない	まったく準備する	わからない
準備したい	準備したい	が、いずれは準備したい	つもりはない	

Q11 [回答票16] あなたは、ご自身がケガや病気で2～3ヵ月程度の入院が必要になった場合に、どのような手段で治療費や生活費などをまかなっていかうとお考えですか。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

72.9 (71.2)	74.2 (ア)	公的医療保険 (国民健康保険や健康保険など)
10.7 (14.5)	7.7 (イ)	企業の見舞金や休業補償
67.4 (65.0)	69.3 (ウ)	民間の生命保険会社や郵便局、JA (農協) などで取り扱っている生命保険の医療・疾病関係の特約や医療保険 (ガン保険など、特定の病気を対象とするものを含む)
14.8 (18.0)	12.3 (エ)	損害保険
49.7 (48.3)	50.9 (オ)	預貯金
2.4 (2.8)	2.1 (カ)	株式・債券などの有価証券
18.9 (10.6)	25.3 (キ)	家族の収入
1.3 (1.6)	1.1 (ク)	その他 ()
1.5 (2.1)	1.0	わからない

Q12 ちなみに、あなたご自身がケガや病気で入院された場合に、医療費等への備えとして、1日につきいくらかの入院給付金が望ましいとお考えですか。

	110.2 (116.8)	105.3 (百円)	15.8 (17.2)						
			14.6						
1日約	<table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		万	千	百	0	0	円の入院給付金が望ましい	わからない
万	千	百	0	0					

ここからは、老後の備えについておうかがいいたします。

Q13〔回答票17〕あなたは、ご自身の老後生活に対して、どの程度不安を感じていますか。

25.0 (21.7)	29.1 (29.1)	31.9 (32.8)	12.4 (14.6)	1.6 (1.8)
27.5 (ア)	29.1 (イ)	31.2 (ウ)	10.7 (エ)	1.5
非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安を感じない	わからない
↓				(Q14へ)

(Q13で(ア)～(ウ)のいずれかを答えた人に)

SQ〔回答票18〕それでは、具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体N : 3,475 男性N : 1,479 女性N : 1,996	81.4 (79.4)	82.9	(ア) 公的年金だけでは不十分なこと
	36.7 (41.9)	32.8	(イ) 退職金や企業年金だけでは不十分なこと
	37.6 (34.5)	39.8	(ウ) 自助努力による経済的準備が不足すること
	15.7 (16.8)	14.9	(エ) インフレで貯蓄等の準備資金が目減りすること
	10.3 (9.3)	11.0	(オ) 利息・配当収入が期待どおりにならないこと
	15.1 (11.8)	17.5	(カ) いざというとき子どもからの援助が期待できないこと
	33.0 (34.1)	32.2	(キ) 働きたくても仕事が確保できないこと
	49.7 (45.0)	53.2	(ク) 健康を害し、日常生活に支障がでること
	19.3 (6.2)	29.0	(ケ) 配偶者に先立たれ、経済的に苦しくなること
	4.6 (3.7)	5.3	(コ) 住居が確保できないこと
	1.1 (1.8)	0.6	(サ) その他 ()
0.3 (0.3)	0.3	わからない	

(全員に聞く)

Q14〔回答票19〕次にあげる公的年金制度に関する項目について、あなたのお考えに近いものをそれぞれお答えください。

(1) 公的年金の保険料は

5.0 (4.7)	14.7 (17.8)	41.3 (41.4)	27.0 (25.3)	12.0 (10.9)
5.2 (ア)	12.3 (イ)	41.2 (ウ)	28.4 (エ)	12.9
安 い	どちらかといえば安い	どちらかといえば高い	高 い	わからない

(2) 公的年金の現在の給付内容は

2.3 (2.9)	15.0 (18.0)	37.5 (36.6)	27.1 (26.4)	18.2 (16.1)
1.8 (ア)	12.7 (イ)	38.2 (ウ)	27.6 (エ)	19.8
充実している	どちらかといえば充実している	どちらかといえば充実していない	充実していない	わからない

Q15〔回答票20〕ここに、老後の備えについて、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、B どちらの考え方に近いでしょうか。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	A に 近 い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	B に 近 い	わ か ら な い
Aの考え方					Bの考え方
A：自助努力で準備していくよりは、 <u>今より高い保険料や税金を払ってでも公的年金を充実してもらいたい</u>	16.8 (19.2) 15.0	20.8 (21.4) 20.4	23.9 (21.3) 25.9	32.7 (33.4) 32.1	5.8 (4.9) 6.5
					B：公的年金の充実のために <u>今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい</u>

Q16〔回答票21〕あなたのご家庭では、あなたご自身の老後に備えて、公的年金や企業年金、退職金以外で、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。
(M.A.)

41.3 (39.1)	42.9	(ア)	民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）などで取り扱っている個人年金保険・変額個人年金保険や生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）
7.7 (8.9)	6.8	(イ)	損害保険会社で取り扱っている年金型商品（年金払積立傷害保険）
43.0 (42.2)	43.6	(ウ)	預貯金
6.2 (8.1)	4.8	(エ)	株式・債券などの有価証券
0.6 (0.8)	0.4	(オ)	その他（
35.5 (36.6)	34.7	(カ)	特別な準備はしていない
1.8 (1.9)	1.6		わからない → (Q 17へ)

SQ (Q16で(ア)～(オ)のいずれかを答えた人に)

〔回答票22〕今お答えいただいた現在の備えに、公的年金や企業年金、退職金などをあわせると、老後に対する準備は十分だとお考えですか。

(Q16で(カ)と答えた人に)

〔回答票22〕では、公的年金や企業年金、退職金などで、老後に対する準備は十分だとお考えですか。

全体N：3,972	2.2	16.5	44.5	28.5	8.3
男性N：1,735	(2.9)	(18.5)	(44.7)	(25.3)	(8.6)
女性N：2,237	1.6	14.9	44.4	31.0	8.1
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	十分 足りている	どちらかといえば 足りている	どちらかといえば 足りない	まったく 足りない	わからない

(全員に聞く)

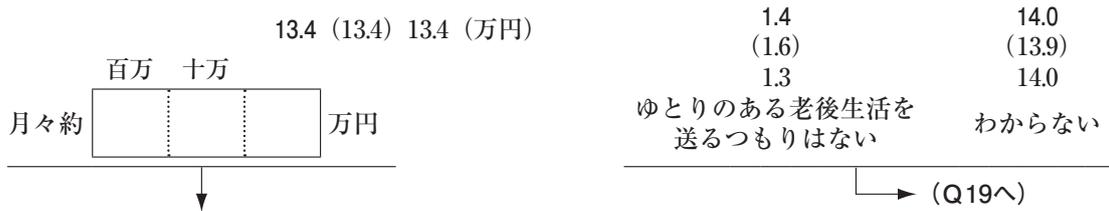
Q17〔回答票23〕あなたは、ご自身の老後に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

6.9	14.9	52.9	22.2	3.1
(6.3)	(16.2)	(50.9)	(23.5)	(3.1)
7.4	13.9	54.4	21.2	3.2
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
すぐにも 準備したい	数年以内には 準備したい	特に時期は決めていないが、 いずれは準備したい	まったく準備する つもりはない	わからない

Q18 ところで、あなたは、老後を夫婦2人で暮らしていくうえで、日常生活費として月々最低いくらぐらい必要だとお考えですか。現在のお金の価値でお答えください。

	22.0 (21.8)	22.2 (万円)	15.4 (15.5)
			15.3
百万			
十万			
月々約	万円		わからない
			(SQ1へ)
			(Q19へ)

S Q 1 それでは、経済的にゆとりのある老後生活を送るためには、今お答えいただいた金額のほかに、あといくらぐらい必要だとお考えですか。現在のお金の価値でお答えください。

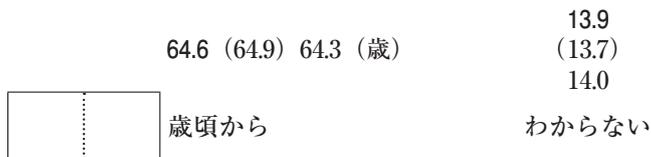


S Q 2 [回答票24] 今お答えいただいた、「経済的にゆとりのある老後生活のための必要額」の使いみちをどのようにお考えですか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体 N : 3,422 男性 N : 1,495 女性 N : 1,927	50.1 (52.6) 48.2	(ア) 趣味や教養
	60.3 (58.8) 61.5	(イ) 旅行やレジャー
	49.4 (47.8) 50.7	(ウ) 食費や住居費、衣服代など老後の日常生活費の充実
	46.7 (41.0) 51.1	(エ) 子どもや孫、親族とのつきあい
	15.0 (14.6) 15.3	(オ) 隣り近所や友人とのつきあい
	23.7 (23.4) 23.9	(カ) テレビや冷蔵庫、自動車などの耐久消費財の買い替え資金
	19.8 (18.7) 20.6	(キ) 結婚資金援助や住宅取得資金援助など、子どもや孫に対する援助
	0.5 (0.5) 0.5	(ク) その他 ()
	3.3 (3.5) 3.2	(ケ) 特に目的はないが、とりあえず貯蓄
0.5 (0.9) 0.2	わからない	

(全員に聞く)

Q19 あなたのお考えでは、公的年金や企業年金、退職金以外で、老後のために準備した資金を老後の生活費として使い始める(始めた)のは、何歳頃からお考えになりますか(何歳頃からでしたか)。



Q20 [回答票25] あなたは、ご自身の老後生活について、それまでの生活と比べて、経済的にどのような生活になる(なった)とお考えでしょうか。この中から1つ選んでください。

1.8 (1.6) 2.0	(ア) 老後はそれまでの生活よりも経済的に豊かな生活になる(なった)と思う
20.4 (20.6) 20.2	(イ) 老後はそれまでの生活と同じ程度の生活になる(なった)と思う
71.8 (71.1) 72.3	(ウ) 老後はそれまでの生活よりもつつましい生活になる(なった)と思う
6.0 (6.7) 5.5	特に考えていない、わからない

Q21 [回答票26] あなたは、ご自身の老後の生活資金をどのような手段でまかなっていかうとお考えですか(まかなっていますか)。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

86.5 (83.9) 88.4	(ア) 公的年金(国民年金・厚生年金・共済年金)
39.5 (45.3) 34.9	(イ) 企業年金・退職金
30.6 (26.8) 33.6	(ウ) 民間の生命保険会社やJA(農協)などで取り扱っている個人年金保険(銀行・証券・郵便局等の窓口で加入した商品も含む)
9.5 (8.8) 10.1	(エ) 民間の生命保険会社で取り扱っている変額個人年金保険(銀行・証券・郵便局等の窓口で加入した商品も含む)
4.6 (5.3) 4.0	(オ) 損害保険会社で取り扱っている年金型商品(年金払積立傷害保険)(銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む)
12.1 (11.4) 12.7	(カ) 民間の生命保険会社やJA(農協)などで取り扱っている生命保険(銀行・証券・郵便局等の窓口で加入した商品も含む)
67.1 (62.5) 70.6	(キ) 預貯金
7.2 (10.1) 4.9	(ク) 株式・債券などの有価証券
3.9 (5.0) 3.1	(ケ) 不動産の売却や賃貸などによる収入
17.7 (14.8) 19.9	(コ) 自分や配偶者が老後も働いて得る収入
2.4 (1.8) 2.8	(サ) 子どもからの援助
0.9 (1.1) 0.7	(シ) その他 ()
3.1 (3.7) 2.6	わからない

ここからは、介護についておうかがいいたします。

Q22〔回答票27〕あなたは、仮にご自身が将来介護される状態になった場合を考えると、どの程度不安を感じますか。

40.8 (35.2)	30.2 (31.8)	18.9 (21.1)	7.4 (8.9)	2.6 (3.1)
45.3 (ア)	29.1 (イ)	17.2 (ウ)	6.2 (エ)	2.2
非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安を感じない	わからない

↓

→ (Q23へ)

(Q22で(ア)～(ウ)のいずれかを答えた人に)

S Q〔回答票28〕それでは、具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体N：3,638 男性N：1,557 女性N：2,081	61.8 (59.3)	63.6 (ア)	公的介護保険だけでは不十分なこと
	41.6 (40.2)	42.6 (イ)	自助努力による経済的準備が不足すること
	49.3 (48.6)	49.9 (ウ)	受けようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと
	19.1 (17.0)	20.7 (エ)	介護をしてくれる家族がいないこと
	64.9 (60.8)	68.0 (オ)	家族に肉体的・精神的な負担をかけること
	52.6 (50.0)	54.6 (カ)	家族に経済的な負担をかけること
	42.6 (37.4)	46.4 (キ)	家族の時間を拘束すること
	11.4 (11.5)	11.3 (ク)	自宅に介護をする場所がないこと
	23.3 (19.8)	25.9 (ケ)	希望する介護施設に入れないこと
	33.9 (30.3)	36.6 (コ)	適切な介護サービスが受けられるかどうかかわからないこと
37.1 (30.3)	42.2 (サ)	介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと	
0.5 (0.6)	0.4 (シ)	その他 ()	
0.5 (0.6)	0.5	わからない	

(全員に聞く)

Q23〔回答票29〕あなたは、将来ご自身が、親や親族などを介護する立場になった場合の生活について、どの程度不安を感じますか。

28.5 (26.3)	30.4 (31.7)	23.2 (23.3)	15.5 (16.2)	2.4 (2.4)
30.2 (ア)	29.4 (イ)	23.0 (ウ)	14.9 (エ)	2.5
非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安を感じない	わからない

↓

→ (Q24へ)

(Q23で(ア)～(ウ)のいずれかを答えた人に)

S Q〔回答票30〕それでは、具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体N：3,319 男性N：1,440 女性N：1,879	51.1 (51.9)	50.6 (ア)	公的介護保険だけでは不十分なこと
	47.7 (47.9)	47.5 (イ)	利用しようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと
	38.4 (36.6)	39.7 (ウ)	介護のための人手が不足すること
	65.3 (60.0)	69.3 (エ)	自分に肉体的・精神的な負担がかかること
	50.3 (52.4)	48.8 (オ)	自分に経済的な負担がかかること
	51.5 (45.4)	56.1 (カ)	自分の時間が拘束されること
	16.8 (16.7)	16.9 (キ)	自宅に介護をする場所がないこと
	26.9 (23.6)	29.4 (ク)	希望する介護施設に入れることができないこと
	34.0 (31.5)	36.0 (ケ)	適切な介護サービスを利用できるかどうかかわからないこと
	46.2 (40.3)	50.8 (コ)	介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと
1.0 (0.9)	1.0 (サ)	その他 ()	
0.5 (0.6)	0.4	わからない	

(全員に聞く)

Q24 [回答票31] 次にあげる公的介護保険制度に関する項目について、あなたのお考えに近いものをそれぞれお答えください。

(1) 公的介護保険の保険料は

2.8 (3.5)	15.4 (17.8)	32.2 (32.6)	19.6 (18.1)	30.0 (27.9)
2.2 (ア)	13.6 (イ)	31.8 (ウ)	20.8 (エ)	31.6
安 い	どちらかといえば安い	どちらかといえば高い	高 い	わからない

(2) 公的介護保険の給付内容は

1.7 (2.1)	12.0 (13.2)	27.3 (28.5)	12.8 (12.5)	46.2 (43.6)
1.5 (ア)	11.0 (イ)	26.4 (ウ)	13.1 (エ)	48.1
充実して いる	どちらかといえば 充実している	どちらかといえば 充実していない	充実して いない	わからない

Q25 [回答票32] ここに、自分が寝たきりや認知症になり、介護が必要になったときの備えについて、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、B どちらの考え方に近いでしょうか。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	A に 近 い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	B に 近 い	わ か ら な い
A の考え方					B の考え方
A : 自助努力で準備していくよりは、 <u>今より高い保険料や税金を払ってでも公的介護保険を充実しても</u> raithたい	22.0 (23.1)	24.2 (24.8)	19.4 (17.3)	26.6 (28.0)	7.9 (6.7)
	21.1	23.7	21.0	25.4	8.8
					B : 公的介護保険の充実のために <u>今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい</u>

Q26 [回答票33] あなたは、仮にご自身が将来介護を受ける状態になった場合に、どのような場所で介護をしてもらいたいとお考えでしょうか。この中から1つだけお答えください。

32.7 (38.8)	27.9 (ア)	自分の家	
0.8 (0.8)	0.8 (イ)	子どもの家	
35.2 (33.0)	37.0 (ウ)	国や県などの公的な介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設など	→ (SQ3へ)
8.6 (8.1)	8.9 (エ)	民間の有料老人ホーム	
12.9 (8.8)	16.1 (オ)	介護などのサービス付き住宅 (シルバーマンションなど)	→ (Q27へ)
3.3 (3.6)	3.2 (カ)	病院	
0.3 (0.4)	0.3 (キ)	その他 ()	
6.1 (6.5)	5.8	わからない	

(SQ1とSQ2は、Q26で(ア)か(イ)のいずれかを答えた人に)

SQ1 [回答票34] 自分の介護は在宅でと答えられましたが、次のどのような形での介護をお考えでしょうか。この中から1つだけお答えください。

全体N : 1,354 男性N : 700 女性N : 654	16.1 (19.4)	12.5	(ア)	自分の家族だけで介護
	49.9 (50.6)	49.1	(イ)	主に自分の家族に介護してもらい、補助的に外部の介護サービス (ホームヘルパーなど) を利用
	28.4 (23.1)	33.9	(ウ)	主に外部の介護サービス (ホームヘルパーなど) を利用し、補助的に自分の家族により介護
	4.0 (4.7)	3.2	(エ)	外部の介護サービス (ホームヘルパーなど) だけで介護
	1.7 (2.1)	1.2		わからない

S Q 2 [回答票35] 在宅での介護を選んだのはなぜですか。その理由をこの中からいくつでもお答えください。(M.A.)

10.8 (13.4)	8.0	(ア)	施設に入らなくても、家族で十分な介護ができると思うから
8.1 (7.7)	8.6	(イ)	公的介護保険制度の在宅介護サービスが充実していると思うから
81.8 (82.9)	80.7	(ウ)	できる限り自宅で生活したいから
25.3 (29.6)	20.6	(エ)	家族に介護してもらいたいから
7.9 (7.6)	8.3	(オ)	施設では充実した介護が受けられそうにないから
26.4 (23.3)	29.7	(カ)	施設に入るだけの金銭的余裕がないから
13.3 (13.1)	13.5	(キ)	施設を利用することに抵抗を感じるから
21.9 (20.0)	24.0	(ク)	施設では自由な生活ができないから
14.8 (13.7)	16.1	(ケ)	施設に関することがよくわからないから
1.3 (1.0)	1.5	(コ)	その他 ()
1.9 (1.6)	2.3		わからない

(Q 26で(ウ)～(カ)のいずれかを答えた人に)

S Q 3 [回答票36] 施設での介護を選んだのはなぜですか。その理由をこの中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体N : 2,430 男性N : 947 女性N : 1,483	38.8 (41.1)	37.3	(ア)	充実した介護サービスが受けられそうだから
	33.6 (33.8)	33.5	(イ)	専門的な医療が受けられるから
	82.5 (79.1)	84.7	(ウ)	家族に迷惑をかけたくないから
	11.7 (10.6)	12.5	(エ)	家族や親族に介護してくれる人がいないから
	15.4 (12.7)	17.2	(オ)	家族による介護は期待できないから
	12.8 (14.3)	11.9	(カ)	自宅に介護をする場所がないから
	0.9 (1.0)	0.9	(キ)	その他 ()
0.3 (0.4)	0.2		わからない	

(全員に聞く)

Q 27 [回答票37] あなたのご家庭では、あなたご自身が介護を受ける状態になった場合に備えて、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。(M.A.)

22.7 (22.3)	22.9	(ア)	民間の生命保険会社や郵便局、J A (農協) などに取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険
5.4 (6.4)	4.6	(イ)	介護費用保険などの損害保険
30.2 (30.2)	30.2	(ウ)	預貯金
3.9 (4.7)	3.2	(エ)	株式・債券などの有価証券
0.4 (0.4)	0.5	(オ)	その他 ()
55.4 (54.6)	56.0	(カ)	特別な準備はしていない
2.5 (2.6)	2.4		わからない → (Q 28へ)

S Q (Q 27で(ア)～(オ)のいずれかを答えた人に)

[回答票38] 今お答えいただいた現在の備えに、公的介護保険をあわせると、介護される状態になった場合の準備は十分だとお考えですか。

(Q 27で(カ)と答えた人に)

[回答票38] では、公的介護保険で、介護される状態になった場合の準備は十分だとお考えですか。

全体N : 3,943 男性N : 1,723 女性N : 2,220	1.3	10.6	40.3	33.6	14.3
	(1.7)	(12.6)	(40.6)	(31.5)	(13.5)
	1.0	9.0	40.1	35.1	14.8
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	十分	どちらかといえば	どちらかといえば	まったく	わからない
	足りている	足りている	足りない	足りない	

(全員に聞く)

Q28 [回答票39] あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

5.4 (5.0)	10.9 (11.6)	59.4 (57.0)	19.7 (22.0)	4.5 (4.4)
5.7 (ア)	10.4 (イ)	61.3 (ウ)	17.9 (エ)	4.7
すぐにも 準備したい	数年以内には 準備したい	特に時期は決めていない が、いずれは準備したい	まったく準備する つもりはない	わからない

Q29 [回答票40] あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていかうとお考えですか。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

74.1 (70.6)	76.8	(ア) 公的介護保険
59.8 (59.0)	60.3	(イ) 公的年金 (国民年金・厚生年金・共済年金)
23.7 (30.7)	18.3	(ウ) 企業年金・退職金
26.9 (26.9)	27.0	(エ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A (農協) などに取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険
10.3 (9.9)	10.6	(オ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A (農協) などに取り扱っている個人年金保険・変額個人年金保険
6.5 (6.5)	6.4	(カ) 介護費用保険などの損害保険
59.4 (56.5)	61.7	(キ) 預貯金
4.4 (6.0)	3.1	(ク) 株式・債券などの有価証券
2.7 (3.4)	2.2	(ケ) 不動産の売却や賃貸などによる収入
3.1 (2.8)	3.4	(コ) 子どもからの援助
0.8 (1.0)	0.6	(サ) その他 ()
4.4 (4.4)	4.5	わからない

ここからは、万一の際の備えについておうかがいいたします。

Q30 [回答票41] あなたは、ご自身がケガや病気で亡くなられた場合の遺族の生活について、どの程度不安を感じていますか。

17.6 (18.0)	21.7 (24.8)	28.7 (31.3)	27.5 (21.6)	4.5 (4.4)
17.2 (ア)	19.3 (イ)	26.8 (ウ)	32.1 (エ)	4.6
非常に 不安を感じる	不安を感じる	少し 不安を感じる	不安を 感じない	わからない
				(Q31へ)

(Q30で(ア)～(ウ)のいずれかを答えた人に)

S Q [回答票42] それでは、具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体N : 2,748 男性N : 1,310 女性N : 1,438	43.7 (53.7)	34.6	(ア) 遺族年金などの公的な保障だけでは不十分なこと
	43.6 (53.4)	34.6	(イ) 遺族の日常生活資金が不足すること
	33.8 (45.0)	23.7	(ウ) 配偶者の老後の生活資金が不足すること
	23.2 (24.6)	21.9	(エ) 子どもの教育資金が不足すること
	11.0 (11.8)	10.2	(オ) 住宅ローンや家賃の支払いなど住宅関連資金が不足すること
	3.9 (5.6)	2.2	(カ) 事業の継承がうまくいかないこと
	5.7 (6.5)	5.1	(キ) 相続税の支払いや遺産相続がうまくいかないこと
	6.4 (7.3)	5.5	(ク) 債務の返済が残り、家族の負担が増えること
	14.3 (9.8)	18.4	(ケ) 葬儀費用がたくさんかかること
	8.8 (2.0)	15.1	(コ) その他 ()
	6.0 (2.6)	9.0	わからない

(全員に聞く)

Q31 [回答票43] 次にあげる公的遺族年金に関する項目について、あなたのお考えに近いものをお答えください。

公的遺族年金の給付内容は

1.5 (2.0) (ア)	11.4 (12.0) (イ)	27.7 (31.1) (ウ)	14.7 (14.8) (エ)	44.7 (40.0) (エ)
充実している	どちらかといえば 充実している	どちらかといえば 充実していない	充実していない	わからない

Q32 [回答票44] ここに、あなたご自身がケガや病気で亡くなられた場合の備えについて、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、B どちらの考え方に近いでしょうか。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	A に 近 い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	B に 近 い	わ か ら な い
A の考え方					B の考え方
A : 自助努力で準備していくよりは、 <u>今より高い保険料や税金を払ってでも公的遺族年金を充実しても</u> raithai	15.6 (17.6) 14.0	18.6 (19.7) 17.6	23.0 (21.9) 23.7	30.7 (30.9) 30.7	12.1 (9.8) 13.9
					B : 公的遺族年金の充実のために <u>今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい</u>

Q33 [回答票45] あなたのご家庭では、あなたご自身がケガや病気で亡くなられた場合に備えて、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。(M.A.)

60.6 (61.8)	59.6 (ア)	民間の生命保険会社や郵便局、J A (農協) などを取り扱っている生命保険
12.8 (16.7)	9.7 (イ)	損害保険
34.2 (37.1)	31.9 (ウ)	預貯金
4.3 (6.0)	3.0 (エ)	株式・債券などの有価証券
0.5 (0.8)	0.3 (オ)	その他 ()
27.3 (25.8)	28.5 (カ)	特別な準備はしていない
2.2 (1.9)	2.5	わからない → (Q34へ)

SQ (Q33で (ア) ~ (オ) のいずれかを答えた人に)

[回答票46] 今お答えいただいた現在の備えに、公的な遺族年金や企業の死亡退職金、弔慰金などをあわせると、お亡くなりになった場合の準備は十分だとお考えですか。

(Q33で (カ) と答えた人に)

[回答票46] では、公的な遺族年金や企業の死亡退職金、弔慰金などで、お亡くなりになった場合の準備は十分だとお考えですか。

全体 N : 3,953	6.2	24.6	38.2	18.8	12.1
男性 N : 1,736	(5.2)	(24.5)	(41.4)	(18.8)	(10.1)
女性 N : 2,217	7.0	24.7	35.8	18.8	13.7
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	十分 足りている	どちらかといえば 足りている	どちらかといえば 足りない	まったく 足りない	わからない

(全員に聞く)

Q34 [回答票47] あなたは、ご自身がケガや病気で亡くなられた場合に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

4.4 (5.0)	10.1 (11.8)	46.1 (47.8)	34.8 (31.2)	4.6 (4.2)
4.0 (ア)	8.8 (イ)	44.8 (ウ)	37.6 (エ)	4.8
すぐにでも 準備したい	数年以内には 準備したい	特に時期は決めていない が、いずれは準備したい	まったく準備する つもりはない	わからない

Q35 [回答票48] あなたは、ご自身がケガや病気で亡くなられた場合に、遺族の生活資金などをどのような手段でまかなっていかうとお考えですか。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつかでもお答えください。(M.A.)

48.8 (61.4)	39.1	(ア) 公的保障 (遺族基礎年金・遺族厚生年金など)
18.5 (28.5)	10.7	(イ) 企業保障 (死亡退職金、遺族弔慰金、遺族年金、遺児年金など)
49.3 (55.3)	44.6	(ウ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A (農協) などで取り扱っている生命保険
10.3 (15.3)	6.4	(エ) 損害保険
47.7 (52.5)	44.1	(オ) 預貯金
4.1 (6.2)	2.4	(カ) 株式・債券などの有価証券
3.4 (4.5)	2.6	(キ) 不動産の売却や賃貸などによる収入
23.3 (12.7)	31.7	(ク) 残された遺族が働いて得る収入
1.9 (1.8)	2.0	(ケ) その他 ()
8.6 (6.7)	10.1	わからない

Q36 ちなみに、あなたご自身がケガや病気で万一お亡くなりになった場合に、遺族の生活資金の備えとして、いくらぐらいの死亡保険金が望ましいとお考えですか。

	2,267 (3,172)	1,463 (万円)	30.1 (24.9)					
億	千万	百万	34.2					
約	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td> </tr> </table> 万円の死亡保険金が望ましい					0	0	わからない
			0	0				

Q37 [回答票49] 今までにおたずねした生活保障の準備の中で、いま現在あなたが最も力を入れたいとお考えのものと、2番目に力を入れたいとお考えのものを、この中からそれぞれ1ずつ選んでください。

	1 番目 ↓		2 番目 ↓	
(ア) 自分が万一の際の遺族のための経済的準備	20.0 (29.6)	12.5	11.4 (14.4)	9.1
(イ) 自分や配偶者の老後の生活資金の準備	22.3 (19.8)	24.2	19.9 (21.9)	18.3
(ウ) 自分がケガや病気で入院した場合の経済的準備	27.9 (24.1)	30.9	24.0 (22.5)	25.1
(エ) 自分が寝たきりや認知症になった際の介護資金の準備	10.5 (7.0)	13.2	25.4 (21.7)	28.3
(オ) 特にない、わからない	19.3 (19.4)	19.2	19.3 (19.4)	19.2

→ (Q38へ)

Q38 [回答票50] 自助努力による生活保障の充実について、生命保険料控除制度などの公的支援がありますが、こうした支援の拡充はあなたが生命保険に新たに加入したり継続していく上でどのくらい重要でしょうか。

22.7 (25.4)	39.8 (39.1)	14.6 (14.2)	8.5 (8.8)	14.5 (12.5)
20.5 (ア)	40.4 (イ)	14.9 (ウ)	8.3 (エ)	16.0
非常に 重要である	どちらかといえば 重要である	どちらかといえば 重要ではない	まったく 重要ではない	わからない

Q39〔回答票51〕生命保険料控除制度などの公的支援が縮小された場合、生命保険の解約・減額を検討するなど、あなたの生活保障準備にどのくらい影響がありますか。

14.2 (14.8)	33.1 (33.7)	23.4 (22.8)	15.2 (16.3)	14.0 (12.4)
13.8 (ア)	32.7 (イ)	23.9 (ウ)	14.3 (エ)	15.3
非常に 影響がある	どちらかといえば 影響がある	どちらかといえば 影響はない	まったく 影響はない	わからない

ここからは、生命保険や生命共済への今後のご加入についておうかがいたします。

Q40〔回答票52〕あなたが仮に生命保険、生命共済や個人年金保険に加入されるとしたら、次のどこを通して加入したいとお考えですか。この中からいくつでもお答えください。

また、そのうち最も加入したいとお考えになっているのはどこですか。お答えになった項目の中から1つだけお答えください。

	Q40〔回答票52〕 どこを通して加入 したいか。(M.A.)	SQ〔回答票52〕 そのうち最もどこ を通して加入した いか。(S.A.) 〔全体N：3,470 男性N：1,527 女性N：1,943〕
	⇓	⇓
(ア) 家庭に来る営業職員（民間の生命保険会社、JA（農協）など）を通して	27.3 (26.6) 27.8	23.3 (22.2) 24.2
(イ) 職場に来る営業職員（民間の生命保険会社、JA（農協）など）を通して	13.2 (17.6) 9.7	9.2 (12.3) 6.7
(ウ) 通信販売（インターネットを通して）	11.9 (13.7) 10.5	7.2 (8.8) 6.0
(エ) 通信販売（テレビ・新聞・雑誌などを通して）	5.8 (5.5) 6.0	2.7 (2.0) 3.1
(オ) 民間の生命保険会社、JA（農協）の窓口を通して	22.8 (25.2) 20.9	14.8 (16.2) 13.8
(カ) 郵便局の窓口や郵便局員を通して	23.2 (18.5) 26.7	13.4 (10.3) 15.8
(キ) 都市銀行の窓口や銀行員を通して（ゆうちょ銀行を含む）	8.4 (6.9) 9.5	3.3 (2.2) 4.2
(ク) 地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員を通して	5.3 (5.0) 5.5	1.8 (1.8) 1.7
(ケ) 信託銀行の窓口や銀行員を通して	1.0 (1.2) 0.7	0.2 (0.4) 0.1
(コ) 証券会社の窓口や営業職員を通して	0.6 (0.7) 0.4	0.1 (0.1) 0.2
(サ) 保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口を通して	11.9 (12.9) 11.1	6.7 (6.8) 6.6
(シ) 保険代理店（金融機関を除く）の営業職員を通して	9.7 (10.4) 9.2	6.0 (6.0) 5.9
(ス) 勤め先や労働組合等を通して	10.9 (11.8) 10.3	7.4 (7.7) 7.1
(セ) その他（ ）	3.0 (2.4) 3.6	3.0 (2.2) 3.7
わからない	14.2 (13.7) 14.6	0.9 (1.0) 0.8

→ (Q41へ)

Q41〔回答票53〕あなたが仮に生命保険、生命共済や個人年金保険に加入されるとしたら、営業職員や窓口、インターネットなどの加入経路にどのようなことを望みますか。この中から重要と考えるものを3つまでお答えください。(M.A.)

65.7 (65.4) 65.9	(ア) 相談や質問に的確、迅速に対応してほしい
10.7 (12.3) 9.4	(イ) 定期的に訪問してほしい
25.0 (28.0) 22.6	(ウ) 高度な商品知識、金融知識を備えてほしい
24.6 (23.3) 25.7	(エ) 他の金融商品を含め、幅広い商品プランを提案してほしい
19.6 (20.7) 18.7	(オ) 商品提案だけでなく資産運用や生活設計などの相談にも対応してほしい
40.9 (38.4) 42.9	(カ) いつでも必要な時に利用できるようにしてほしい
21.6 (19.4) 23.4	(キ) 加入時の書面手続を簡略化してほしい
1.6 (2.3) 1.1	(ク) その他（ ）
10.7 (10.9) 10.6	わからない

Q42〔回答票54〕あなたが仮に生命保険、生命共済や個人年金保険に加入されるとしたら、A、Bどちらの生命保険に加入したいとお考えですか。

	(ア) A に 近 い	(イ) ど ち ら か と い え ば	(ウ) ど ち ら か と い え ば	(エ) B に 近 い	わ か ら な い	
	Aの生命保険			Bの生命保険		
(1) A : 配当金や解約返戻金がない分、保険料が安い生命保険に加入したい	27.2 (28.9) 25.9	15.2 (15.3) 15.2	13.5 (12.2) 14.5	37.3 (37.1) 37.5	6.7 (6.5) 6.9	B : 配当金や解約返戻金のある生命保険に加入したい
(2) A : 掛け捨て(貯蓄機能のない)の生命保険に加入したい	17.6 (20.3) 15.6	10.6 (11.1) 10.2	17.4 (17.4) 17.4	47.3 (44.3) 49.6	7.1 (6.9) 7.3	B : 貯蓄機能を兼ねた生命保険に加入したい
(3) A : 保障の範囲が絞られた生命保険に加入したい	10.7 (11.8) 9.9	8.0 (7.9) 8.2	20.3 (19.6) 20.8	52.3 (52.2) 52.3	8.8 (8.6) 8.9	B : 保障範囲の広い生命保険に加入したい
(4) A : 運用実績により、保険金額が増加したり減少したりする生命保険に加入したい	3.7 (4.4) 3.3	3.8 (4.6) 3.2	19.3 (19.3) 19.2	63.7 (62.7) 64.4	9.5 (9.0) 10.0	B : 保険金額があらかじめ一定額に定められた生命保険に加入したい

Q43〔回答票55〕あなたが仮に生命保険、生命共済や個人年金保険に加入されるとしたら、それらの商品を提供している生命保険会社、団体などにどのようなことを望みますか。この中からいくつかでもお答えください。(M.A.)

66.6 (67.2) 66.2	(ア) 経営内容が健全であること
15.3 (16.0) 14.8	(イ) 幅広い生命保険商品を開発・販売していること
72.6 (69.0) 75.5	(ウ) 保険金や給付金が確実に支払われること
51.7 (47.7) 54.8	(エ) 相談や問い合わせ等への対応が迅速であること
32.7 (31.9) 33.3	(オ) 加入の手続き等が簡単であること
27.4 (25.8) 28.6	(カ) 従業員や営業職員、代理店への教育が行き届いていること
15.4 (15.9) 15.0	(キ) 会社の様々な情報(企業情報や商品情報など)を積極的に開示していること
22.1 (24.3) 20.5	(ク) 法令を遵守しているかをチェックする体制が整っていること
22.9 (21.9) 23.7	(ケ) パンフレットや資料など提供している情報がわかりやすいこと
30.8 (27.5) 33.5	(コ) 顧客の個人情報管理が行き届いていること
7.1 (6.8) 7.3	(サ) 社会貢献活動に積極的に取り組んでいること
0.8 (1.3) 0.5	(シ) その他 ()
5.4 (5.9) 4.9	わからない

Q44 [回答票56] あなたは、生命保険に加入する際に使われるパンフレットや設計書などの資料の内容として、最も重要と考えるものは何ですか。この中から1つだけお答えください。

- 5.1 (5.4) 4.8 (ア) 生命保険会社に関する情報
- 16.6 (18.2) 15.3 (イ) 生命保険商品の仕組み
- 15.2 (14.0) 16.1 (ウ) 保険料や保険料払込方法・保険料払込期間
- 2.7 (3.4) 2.2 (エ) 配当金の有無、配当方法
- 1.9 (2.2) 1.7 (オ) 解約返戻金等の水準
- 40.5 (38.6) 42.0 (カ) 保障の内容 (保険金が支払われる場合・支払われない場合等)
- 2.3 (2.7) 2.0 (キ) 保険金請求等の各種手続
- 3.3 (3.6) 3.0 (ク) アフターサービスの内容
- 0.3 (0.3) 0.3 (ケ) 営業職員、代理店等の報酬・手数料
- 2.2 (2.2) 2.1 (コ) 契約内容登録制度 (被保険者の氏名、保険金額等の保険契約に関するデータを登録する制度)、生命保険契約者保護機構 (生命保険会社が経営破綻した場合に保険契約者を保護する制度) 等の各種制度
- 1.6 (1.4) 1.8 (サ) クーリング・オフ (一定期間内に契約を解除できる制度)
- 0.5 (0.7) 0.4 (シ) その他 ()
- 7.9 (7.5) 8.2 わからない

Q45 [回答票57] それでは、仮に民間の生命保険会社か、かんぽ生命から加入されるとしたら、どちらから加入したいとお考えですか。(枠囲みの記載を前提に) この中から1つだけお答えください。

- 25.8 (27.8) 24.4 (ア) 民間の生命保険会社
- 14.9 (15.7) 14.3 (イ) どちらかといえば民間の生命保険会社
- 12.9 (12.0) 13.6 (ウ) どちらかといえばかんぽ生命
- 14.1 (13.6) 14.5 (エ) かんぽ生命
- 27.2 (26.4) 27.9 (オ) どちらともいえない → (Q46へ)
- 5.0 (4.5) 5.4 わからない → (Q46へ)

<かんぽ生命について> (前提)

- ・平成19年10月にかんぽ生命は民営化・株式会社化されました。
- ・ただし、かんぽ生命の株式は、現時点においても日本郵政を通じて政府が100%保有しています。
- ・従来の郵政民営化法では、政府はかんぽ生命の株式につき「10年以内に完全売却する」旨が記載されていましたが、平成24年5月公布の改正郵政民営化法では、政府はかんぽ生命の株式につき「できる限り早期に処分する」旨の記載に改正されております。

(Q45で(ア)～(エ)のいずれかを答えた人に)

S Q [回答票58] あなたがそう思った理由はどのようなことからですか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px; display: inline-block;"> 全体N : 2,739 男性N : 1,222 女性N : 1,517 </div>	31.8 (34.9) 29.3	(ア) 商品やサービスが良さそうだと思うから
	23.3 (22.7) 23.7	(イ) 価格が手ごろそうだと思うから
	36.6 (36.2) 37.0	(ウ) 信頼できそうだと思うから
	15.9 (16.8) 15.2	(エ) 営業職員・窓口の対応が良さそうだと思うから
	12.7 (12.0) 13.2	(オ) 営業職員・窓口に関係、知人がいるから
	18.0 (18.6) 17.5	(カ) 健全な経営をしそうだと思うから
	13.9 (13.9) 13.9	(キ) 政府による間接的な株式保有が継続されるので、安心できそうだと思うから
	10.3 (9.7) 10.7	(ク) いざという時に政府の関与が期待できそうだと思うから
	12.9 (12.4) 13.3	(ケ) 規模が大きそうだと思うから
	13.1 (12.2) 13.8	(コ) 国営事業として運営される可能性があり、安心できそうだと思うから
	12.6 (10.2) 14.4	(サ) 店舗が近くにあり、便利そうだと思うから
	3.5 (2.9) 3.9	(シ) 広告をよく見かけるから
	10.4 (9.1) 11.4	(ス) 以前(簡易保険等に)加入したことがあるから
	4.2 (5.1) 3.4	(セ) 運用成績が良さそうだと思うから
	3.4 (3.7) 3.2	(ソ) その他(具体的に:)
	1.6 (1.7) 1.5	わからない

(全員に聞く)

Q46 [回答票59] あなたは民間の生命保険会社とかんぽ生命についてそれぞれどのように思っていますか。この中からあてはまるものをいくつでもお答えください。(M.A.)

	(1) 民間の生命保険 会社	(2) かんぽ生命
	⇓	⇓
(ア) 商品やサービスが良さそうだと思う……………	42.9 (44.7) 41.5 ……	8.1 (7.6) 8.4
(イ) 価格が手ごろそうだと思う……………	24.1 (24.6) 23.7 ……	17.1 (15.5) 18.3
(ウ) 信頼できそうだと思う……………	20.4 (20.7) 20.2 ……	28.6 (25.8) 30.8
(エ) 営業職員・窓口の対応が良さそうだと思う……………	26.3 (26.5) 26.1 ……	9.2 (8.5) 9.8
(オ) 健全な経営をしそうだと思う……………	11.9 (12.8) 11.2 ……	18.0 (17.0) 18.8
(カ) 政府による間接的な株式保有が継続されるので、安心できそう と思う……………	2.8 (2.6) 2.9 ……	29.1 (30.9) 27.7
(キ) いざという時に政府の関与が期待できそうだと思う……………	3.2 (3.6) 2.9 ……	26.0 (27.7) 24.7
(ク) 規模が大きそうだと思う……………	17.5 (15.1) 19.4 ……	17.3 (19.4) 15.7
(ケ) 国営事業として運営された伝統があり、安心できそうと思 う……………	2.1 (1.6) 2.5 ……	29.9 (31.5) 28.7
(コ) 店舗が近くにあり、便利そうだと思う……………	11.5 (11.8) 11.3 ……	19.5 (17.2) 21.3
(サ) 運用成績が良さそうだと思う……………	11.2 (11.8) 10.8 ……	4.3 (4.4) 4.2
(シ) その他(具体的に:)……………	2.3 (2.5) 2.2 ……	1.5 (1.4) 1.5
わからない……………	19.1 (19.7) 18.6 ……	21.9 (23.5) 20.8

(全員に聞く)

Q47 ここにあげた生命保険や個人年金保険のうち、あなたご自身にかかっている保険はそれぞれ何件ですか。保険料の支払いがすべて終了している契約で、現在も保険契約が続いているものも含めてお答えください。

(1) [回答票60] では、「生命保険」については、いかがですか。

「あなたご自身が被保険者となっている生命保険や生命共済」(個人年金保険や年金共済を除く)

- ・民間の生命保険会社の生命保険
- ・かんぽ生命の生命保険(平成19年10月以降に加入)
- ・郵便局の簡易保険(平成19年9月以前に加入)
- ・JA(農協)の生命共済(養老生命共済など)
- ・全労済の生命共済(こくみん共済など)
- ・生協の生命共済(県民共済など)

	1.5 (1.6) 1.5 (件)	16.1 (16.0)	2.4 (3.1)
全部で	<input type="text"/>	16.1	2.0
	件	自分にかかっている 生命保険はない	わからない

(2) [回答票61] 次に、「個人年金保険」については、いかがですか。

「あなたご自身が被保険者となっている個人年金保険や年金共済」

- ・民間の生命保険会社の個人年金保険(変額個人年金保険を含む)
- ・かんぽ生命の個人年金保険(平成19年10月以降に加入)
- ・郵便局(簡易保険)の年金保険(平成19年9月以前に加入)
- ・JA(農協)の年金共済など
- ・全労済のねんきん共済など

	1.1 (1.1) 1.1 (件)	75.4 (76.6)	3.9 (4.4)
全部で	<input type="text"/>	74.5	3.6
	件	自分にかかっている 個人年金保険はない	わからない

↓

〔(1)「生命保険」、(2)「個人年金保険」あわせて一件以上に加入している場合はSQへ、それ以外の場合(両方とも「加入していない」あるいは加入しているか「わからない」)は、Q52へ〕

(Q47 (1) および (2) のいずれか一方でも、保険の件数を答えた人に聞く)

SQ その中で、一番最近加入された生命保険、生命共済や個人年金保険について、もう少し詳しくおうかがいいたします。

調査員指示：水色調査票*を示して、記入の仕方を説明しながら、最近加入の生命保険、生命共済や個人年金保険について、問1～問5まで質問をし、記入していく

※本報告書312ページ参照

(引き続き、Q47(1)および(2)のいずれか一方でも、保険の件数を答えた人に聞く)

Q48〔回答票62〕その保険に加入された主な目的は何ですか。この中から1つだけお答えください。

全体N：3,352 男性N：1,452 女性N：1,900	28.2 (42.5)	17.2	(ア) 万一死亡した時のため
	54.5 (39.5)	66.0	(イ) ケガや病気になった際の医療費のため
	3.5 (4.6)	2.7	(ウ) ケガや病気ですべての収入が途絶えた時のため
	6.7 (6.3)	7.0	(エ) 老後の生活資金のため
	0.8 (0.7)	0.9	(オ) 要介護状態となった時のため
	0.5 (0.3)	0.6	(カ) 教育・結婚資金のため
	2.4 (1.9)	2.8	(キ) 貯蓄のため
	2.1 (2.5)	1.9	(ク) その他 ()
	1.2 (1.7)	0.8	わからない

Q49〔回答票63〕その保険に加入したのは、どのようなきっかけからでしたか。この中からいくつでもお答えください。

11.5 (15.3)	8.5	(ア) 就職をしたので
13.0 (15.4)	11.2	(イ) 結婚をしたので
8.4 (9.5)	7.5	(ウ) 子どもが誕生したので
4.1 (4.3)	4.0	(エ) 経済的にゆとりができたので
12.7 (10.9)	14.1	(オ) 加入していた生命保険が満期になった、あるいは解約したので
6.0 (4.7)	6.9	(カ) 近親者や友人などの病気やケガ、死亡などに接したので
17.8 (17.1)	18.4	(キ) 営業職員や窓口ですすすめられて
11.4 (13.2)	10.1	(ク) 勤め先や労働組合など職場ですすすめられて
20.9 (19.0)	22.4	(ケ) 家族や友人などにすすめられて
3.7 (3.7)	3.7	(コ) テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどの広告や記事を見て
2.1 (1.3)	2.8	(サ) ダイレクトメールやチラシを見て
17.8 (18.0)	17.6	(シ) 元々生命保険に加入する必要性を感じていたので
5.5 (5.6)	5.5	(ス) その他 ()
1.7 (2.1)	1.4	わからない

Q50〔回答票64〕その保険はこの中のどちらから加入しましたか。この中から1つだけお答えください。

31.4 (27.9)	34.1	(ア) 家庭に来る営業職員 (民間の生命保険会社、JA (農協) など)
18.3 (24.0)	13.9	(イ) 職場に来る営業職員 (民間の生命保険会社、JA (農協) など)
1.5 (1.9)	1.2	(ウ) 通信販売 (インターネットを通して)
4.3 (3.5)	4.8	(エ) 通信販売 (テレビ・新聞・雑誌などを通して)
7.0 (7.0)	7.1	(オ) 民間の生命保険会社、JA (農協) などの窓口
8.8 (6.9)	10.3	(カ) 郵便局の窓口や郵便局員
1.1 (0.9)	1.2	(キ) 都市銀行の窓口や銀行員 (ゆうちょ銀行を含む)
1.2 (1.3)	1.2	(ク) 地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員
0.1 (0.1)	0.1	(ケ) 信託銀行の窓口や銀行員
0.1 (0.3)	0.0	(コ) 証券会社の窓口や営業職員
3.4 (3.4)	3.3	(サ) 保険代理店 (金融機関を除く保険ショップ等) の窓口
6.1 (6.7)	5.6	(シ) 保険代理店 (金融機関を除く) の営業職員
6.6 (7.9)	5.6	(ス) 勤め先や労働組合等を通して
7.1 (5.2)	8.5	(セ) その他 ()
3.1	3.1	3.2 わからない

Q51〔回答票65〕その保険の加入を検討するにあたって、どのようなところから情報を得ましたか。この中からいくつでもお答えください。
また、そのうち最も参考になった情報はどれですか。お答えになった項目の中から1つだけお答えください。

	Q 51〔回答票65〕 どこから情報を得ましたか。(M.A.)		S Q〔回答票65〕 そのうちどの情報が最も参考になりましたか。(S.A.)	
	↓		↓	
(ア) 民間の生命保険会社、郵便局、J A (農協) などの営業職員	42.5 (43.5)	41.7	36.7 (38.1)	35.7
(イ) 民間の生命保険会社、郵便局、J A (農協) などの窓口	7.8 (6.9)	8.5	5.0 (4.4)	5.6
(ウ) 保険代理店の窓口 (保険ショップ等)	2.5 (2.4)	2.6	1.6 (1.6)	1.6
(エ) 保険代理店の営業職員	8.3 (9.4)	7.4	6.0 (6.8)	5.5
(オ) 銀行・証券会社の窓口や営業職員	2.3 (2.2)	2.3	1.4 (1.5)	1.4
(カ) 家族・親類	20.0 (18.4)	21.3	13.9 (12.2)	15.1
(キ) 友人・知人	17.3 (15.8)	18.5	9.8 (8.8)	10.6
(ク) 職場の同僚・上司	5.8 (6.8)	5.0	2.9 (3.0)	2.9
(ケ) 勤め先や労働組合、健康保険組合	8.1 (10.6)	6.1	6.0 (8.0)	4.5
(コ) ファイナンシャル・プランナー (FP) や税理士・公認会計士	1.3 (1.6)	1.1	0.9 (1.1)	0.8
(サ) 生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける公益的な機関	0.4 (0.5)	0.4	0.2 (0.1)	0.2
(シ) テレビ・新聞・雑誌・書籍などの広告や記事	7.8 (7.2)	8.3	3.7 (3.7)	3.7
(ス) 生命保険会社などが公開している決算報告書等の資料	0.3 (0.3)	0.3	0.1 (0.1)	0.1
(セ) 商品カタログ・パンフレット	15.0 (13.4)	16.2	6.8 (5.4)	7.9
(ソ) ダイレクトメール (郵便など)	2.6 (1.8)	3.2	1.0 (0.7)	1.3
(タ) その会社や代理店のホームページ	1.4 (1.7)	1.2	0.7 (0.9)	0.6
(チ) 生命保険に関する情報を提供しているホームページ	1.9 (2.9)	1.2	0.8 (1.4)	0.4
(ツ) その他 ()	2.4 (2.5)	2.3	2.1 (2.4)	1.9
わからない	4.3 (4.1)	4.4	0.2 (0.0)	0.4

▶ (Q53へ)

(Q 47 (1) および (2) の両方とも、「加入していない」あるいは「わからない」と答えた人に)

Q52〔回答票66〕あなたが現在、生命保険や個人年金保険に加入されていないのは、どういった理由からですか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

全体 N : 691 男性 N : 317 女性 N : 374	42.5 (43.2)	42.0	(ア) 経済的余裕がないから
	20.0 (19.9)	20.1	(イ) 生命保険の必要性をあまり感じていないので
	5.1 (5.0)	5.1	(ウ) 自分に合った生命保険商品がないので
	12.9 (11.4)	14.2	(エ) 生命保険についてよくわからないから
	5.6 (5.0)	6.1	(オ) 加入を勧められたことがないので
	3.8 (3.5)	4.0	(カ) 生命保険が嫌いなので
	16.9 (13.2)	20.1	(キ) 保険料が高いから
	0.9 (0.9)	0.8	(ク) 配当金が少ないから
	8.7 (9.5)	8.0	(ケ) 健康上の理由や年齢制限のため加入できないので
	4.3 (4.1)	4.5	(コ) 貯蓄などの他の金融商品のほうが有利だと思うので
	5.8 (6.6)	5.1	(サ) 公的年金や公的医療保険、公的介護保険など国の社会保障があるので
	2.7 (2.5)	2.9	(シ) 退職金や企業年金など会社の保障 (福利厚生) があるので
	8.4 (7.6)	9.1	(ス) その他 ()
	14.2 (13.9)	14.4	(セ) 特に理由はない
8.1 (9.5)	7.0	わからない	

(全員に聞く)

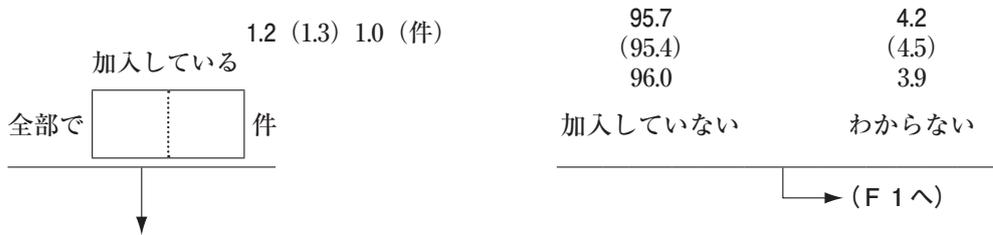
いままでおうかがいした生命保険や個人年金保険以外についておたずねします。

少額短期保険および共済についてのお尋ね

以下の生命保険や生命共済を除いてお答えください。

- 民間の生命保険会社(かんぽ生命を含む)の生命保険、個人年金保険(少額短期保険を除く)
- 簡保の生命保険、年金保険
- 以下に挙げるような共済団体の生命共済、年金共済
 - ・全国共済農業協同組合連合会(J A共済連)の「J A共済」
 - ・全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)の「こくみん共済」
 - ・全国生活協同組合連合会(全国生協連)の「県民共済」「都民共済」「府民共済」など
 - ・日本コープ共済生活協同組合連合会(コープ共済連)の「CO・OP共済」

Q53〔回答票67〕あなたは、万一の場合や、病気、ケガ、老後、介護に備えるための手段として、少額短期保険や共済にあなたご自身が加入されていますか。(加入されている方は、件数もお答えください。)



調査員指示：さくら色調査票^{*}を渡し、後で記入してもらうように依頼する。
特に、加入している「団体名」は正確に記入してもらうようお願いする。

※本報告書314ページ参照

今までおうかがいしたことを、統計として分析するために、あなたやご家族のことについて、もう少しおたずねいたします。

F 1 (性別)

43.8 男 56.2 女

F 2 あなたの年齢は満でいくつですか。

満 歳 48.5 (48.6) 48.4 (歳)

F 3 [回答票68] あなたのご職業は何ですか。この中から1つだけお答えください。(S.A.)

- | | | | |
|-------------|------|-----|------------------------|
| 2.3 (3.1) | 1.6 | (ア) | 農・林・漁業の自営者・家族従事者 |
| 2.1 (3.9) | 0.7 | (イ) | 商工・サービス業の自営者(法人組織の経営者) |
| 4.3 (8.1) | 1.4 | (ウ) | 商工・サービス業の自営者(個人事業の経営者) |
| 1.8 (0.9) | 2.5 | (エ) | 商工・サービス業の家族従事者 |
| 1.0 (1.6) | 0.6 | (オ) | 自由業 |
| 3.3 (4.2) | 2.6 | (カ) | 公務員 |
| 4.2 (9.0) | 0.5 | (キ) | 民間企業の管理職 |
| 8.5 (6.7) | 9.9 | (ク) | 民間企業の事務職 |
| 10.2 (18.2) | 4.0 | (ケ) | 民間企業の労務職 |
| 5.9 (7.8) | 4.4 | (コ) | 民間企業の販売・サービス職 |
| 5.4 (7.2) | 4.0 | (サ) | 民間企業の専門・技術職 |
| 2.4 (2.4) | 2.5 | (シ) | 派遣社員・契約社員 |
| 15.0 (4.9) | 22.9 | (ス) | パート・アルバイト(学生を除く) |
| 2.7 (3.7) | 2.0 | (セ) | 学生 |
| 29.5 (16.9) | 39.3 | (ソ) | 無職(専業主婦を含む) |
| 0.9 (0.7) | 1.0 | (タ) | その他() |
| 0.4 (0.5) | 0.3 | | 無回答 |

(F 3で、(キ)～(サ)のいずれかを答えた人に)

S Q 1 勤め先の従業員の人数は、会社全体で何人ぐらいですか。本社、支店なども含めてお答えください。

全体N : 1,386 男性N : 867 女性N : 519	24.7	32.5	14.6	26.8	1.4
	(21.2)	(32.3)	(15.1)	(30.1)	(1.3)
	30.4	32.8	13.9	21.2	1.7
	1～29人	30～299人	300～999人	1,000人以上	無回答

(全員に聞く)

F 4 [回答票69] あなたご自身の昨年1年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

15.8 (5.1)	24.1	(ア)	収入はない	3.9 (8.1)	0.6	(キ)	700万円以上 1,000万円未満
15.6 (5.1)	23.8	(イ)	100万円未満	1.2 (2.4)	0.2	(ク)	1,000万円以上 1,500万円未満
14.2 (10.0)	17.5	(ウ)	100万円以上 200万円未満	0.2 (0.4)	0.0	(ケ)	1,500万円以上 2,000万円未満
11.7 (13.4)	10.3	(エ)	200万円以上 300万円未満	0.2 (0.5)	0.0	(コ)	2,000万円以上
15.0 (25.1)	7.2	(オ)	300万円以上 500万円未満	14.6 (15.8)	13.6		無回答
7.6 (14.0)	2.6	(カ)	500万円以上 700万円未満				

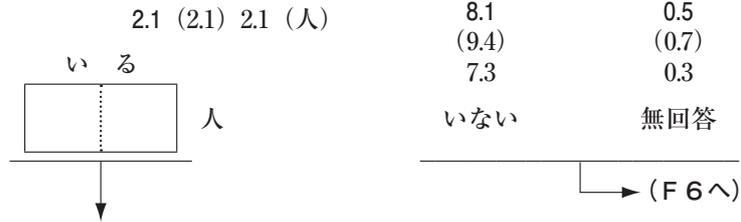
F 5 [回答票70] あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

19.5	72.3	8.1	0.0
(25.9)	(68.4)	(5.6)	(0.1)
14.6	75.4	10.1	0.0
(ア)	(イ)	(ウ)	
未婚	既婚 (配偶者あり)	既婚 (離別・死別)	無回答
↓	↓	↓	↓
(F 6へ)	(S Q 1へ)	(F 6へ)	

(F5で、(イ)か(ウ)のいずれかを答えた人に)

SQ1 お子さまはいらっしゃいますか。別居しているお子さまも含めてお答えください。お子さまがいらっしゃる方は、お子さまの人数もお答えください。

全体N : 3,252
男性N : 1,309
女性N : 1,943



SQ2 [回答票71] お子さまの年代は、この中ではどれにあたりますか。(M.A.)

全体N : 2,972
男性N : 1,177
女性N : 1,795

7.8 (8.2)	7.5 (ア)	乳児
6.8 (7.3)	6.4 (イ)	保育園児
6.4 (6.8)	6.1 (ウ)	幼稚園児
19.7 (18.2)	20.7 (エ)	小学生
12.6 (11.9)	13.0 (オ)	中学生
12.0 (12.4)	11.7 (カ)	高校生
10.6 (11.0)	10.4 (キ)	短大・大学・大学院生 (高専・専門学校生を含む)
3.9 (4.0)	3.8 (ク)	学校を卒業して働いていない (未婚)
3.8 (4.0)	3.7 (ケ)	学校を卒業して働いていない (既婚)
35.2 (34.5)	35.7 (コ)	働いている (未婚)
35.1 (34.4)	35.6 (サ)	働いている (既婚)
0.2 (0.3)	0.2	無回答

(全員に聞く)

F6 [回答票72] あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(M.A.)

71.5 (67.7)	74.5 (ア)	配偶者	5.3 (2.4)	7.6 (ク)	義母
50.2 (44.1)	55.0 (イ)	未婚の子ども	2.4 (2.7)	2.2 (ケ)	祖父母
3.6 (3.2)	4.0 (ウ)	既婚の子ども	7.1 (8.3)	6.2 (コ)	未婚の兄弟・姉妹
3.3 (2.9)	3.6 (エ)	孫	0.8 (0.8)	0.8 (サ)	既婚の兄弟・姉妹
13.8 (17.4)	11.1 (オ)	実父	1.5 (1.7)	1.3 (シ)	その他 ()
3.1 (1.1)	4.7 (カ)	義父	7.8 (11.1)	5.2 (ス)	同居している家族はいない
20.6 (26.7)	15.9 (キ)	実母	0.4 (0.3)	0.4	無回答

(F7とF8は配偶者がいる人に聞く)

F7 [回答票73] あなたの配偶者のご職業は何ですか。この中から1つだけお答えください。(S.A.)

全体N : 2,924
男性N : 1,210
女性N : 1,714

2.5 (2.6)	2.4 (ア)	農・林・漁業の自営者・家族従事者
2.0 (0.6)	3.0 (イ)	商工・サービス業の自営者 (法人組織の経営者)
6.1 (1.4)	9.4 (ウ)	商工・サービス業の自営者 (個人事業の経営者)
2.0 (4.0)	0.6 (エ)	商工・サービス業の家族従事者
0.7 (0.3)	0.9 (オ)	自由業
5.0 (2.5)	6.8 (カ)	公務員
7.4 (0.4)	12.3 (キ)	民間企業の管理職
8.2 (5.3)	10.3 (ク)	民間企業の事務職
11.3 (3.6)	16.7 (ケ)	民間企業の労務職
5.7 (3.1)	7.6 (コ)	民間企業の販売・サービス職
4.9 (2.7)	6.5 (サ)	民間企業の専門・技術職
1.6 (1.2)	1.9 (シ)	派遣社員・契約社員
11.5 (24.0)	2.6 (ス)	パート・アルバイト (学生を除く)
0.1 (0.2)	0.0 (セ)	学生
28.5 (45.8)	16.3 (ソ)	無職 (専業主婦を含む)
0.9 (0.3)	1.2 (タ)	その他 ()
1.6 (2.0)	1.4	無回答

(引き続き、配偶者がいる人に聞く)

F 8 [回答票74] あなたのご家庭では、ご夫婦の昨年1年間の収入の合計は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

11.5 (12.8)	10.6 (ア)	300万円未満	5.6 (5.5)	5.7 (オ)	1,000万円以上 1,500万円未満
23.7 (23.1)	24.2 (イ)	300万円以上 500万円未満	1.2 (1.4)	1.1 (カ)	1,500万円以上 2,000万円未満
19.9 (20.3)	19.6 (ウ)	500万円以上 700万円未満	0.7 (1.1)	0.4 (キ)	2,000万円以上
14.5 (15.0)	14.1 (エ)	700万円以上 1,000万円未満	22.8 (20.8)	24.3	無回答

(全員に聞く)

F 9 [回答票75] あなたの現在のお住まいについて、この中から1つだけお答えください。

35.0 (33.4)	36.3 (ア)	持家 (自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中)
29.5 (29.4)	29.6 (イ)	持家 (自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし)
12.0 (12.5)	11.6 (ウ)	持家 (両親など、配偶者を除く家族の名義)
20.9 (21.8)	20.1 (エ)	賃貸住宅 (借家など)
2.0 (2.7)	1.5 (オ)	社宅・独身寮など
0.6 (0.3)	0.8	無回答

F10 [回答票76] 「あなたのご家庭では、ご夫婦の」(配偶者のいない人には「あなたの」と言いかえる) 預貯金や株式・公社債や保険などの金融資産の金額合計はこの中のどれになりますか。およそで結構ですので、お知らせください。ただし、土地や建物の評価額や負債は除きます。

11.2 (12.9)	9.8 (ア)	100万円未満
9.9 (9.8)	10.0 (イ)	100万円以上 300万円未満
7.3 (7.3)	7.2 (ウ)	300万円以上 500万円未満
9.0 (9.4)	8.8 (エ)	500万円以上 1,000万円未満
6.6 (5.9)	7.1 (オ)	1,000万円以上 2,000万円未満
3.2 (3.1)	3.2 (カ)	2,000万円以上 3,000万円未満
4.9 (5.2)	4.7 (キ)	3,000万円以上
48.0 (46.4)	49.2	無回答

たいへん長い間ありがとうございました。

○生活保障に関する調査○

平成25年 4月

1. 下にあげるような生命保険、生命共済や個人年金保険のうち、あなたご自身にかかっているもの（あなた自身が被保険者となっているもの）1件について、この質問票1枚にご記入ください。該当する保険が2件以上ある場合は、同じ要領で、それぞれの質問票にご記入ください。

生命保険（個人年金保険を除く）とは	個人年金保険とは
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の生命保険会社の生命保険 ・ かんぽ生命の生命保険（平成19年10月以降に加入） ・ 郵便局の簡易保険（平成19年9月以前に加入） ・ J A（農協）の生命共済（養老生命共済など） ・ 全労済の生命共済（こくみん共済など） ・ 生協の生命共済（県民共済など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の生命保険会社の個人年金保険（変額個人年金保険を含む） ・ かんぽ生命の個人年金保険（平成19年10月以降に加入） ・ 郵便局（簡易保険）の年金保険（平成19年9月以前に加入） ・ J A（農協）の年金共済など ・ 全労済のねんきん共済など

除外するもの……財形保険、損害保険、損害共済、グループ保険、市町村の交通共済、国民年金基金、団体信用生命保険など

2. お宅で、生命保険についてよくご存知の方と相談の上、ご記入ください。
 3. ご記入に際しては、できるだけ保険証券や契約内容のお知らせなどでご確認ください。

問1. この保険は生命保険、個人年金保険、変額個人年金保険のうちどちらですか。（○は1つ）

1 生命保険 (生命共済も含む)	2 個人年金保険 (年金保険、年金共済、ねんきん共済も含む)	3 変額個人年金保険
------------------------	--------------------------------------	---------------

問1付問1 a. この保険は、次のどちらで取り扱っている保険ですか。（○は1つ）

1	2	3	4	5
民間の生命保険会社	かんぽ生命 <small>(平成19年10月以降に加入)</small>	簡保 (郵便局) <small>*かんぽ生命を除く</small>	J A (農協)	生協、 全労済

問1付問1 b. この保険は、次のどちらで取り扱っている保険ですか。（○は1つ）

1	2	3	4	5
民間の生命保険会社	かんぽ生命 <small>(平成19年10月以降に加入)</small>	簡保 (郵便局) <small>*かんぽ生命を除く</small>	J A (農協)	生協、 全労済

問1付問2 a. 現時点で、病気で死亡された場合、この保険で支払われる死亡保険金額をお知らせください。

注1：交通事故等、災害による死亡保険金ではありません。
 注2：死亡保険金が一定期間年金で受け取れるタイプ（生活保障特約、収入保障特約などの名称）が付加されているものは、その受取額の合計を含めてお答えください。
 注3：死亡保険金がない場合は、「0」とご記入ください。

億	千万	百万	十万	万円
<input type="text"/>				

問1付問2 b. この保険で1年間に受け取れる年金の金額をお知らせください。
 (注：配当によるものを除きます。)

年額	千万	百万	十万	万円
<input type="text"/>				

1 変額個人年金保険なので金額は未定

問1付問3 b. この保険で最大何年間の年金を受け取ることが出来ますか。（○は1つ）

1 5年間	4 一生涯（終身年金）
2 10年間	5 その他（ 年）
3 15年間	

(問2以降は全員の方におうかがいします)

(全員の方におうかがいします)

問2. この保険は以下にあげられるような保障内容を持つ生命保険(個人年金保険)ですか。またはそのような内容を持つ特約が付加されていますか。当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

(注)・取り扱い機関によって、保険や特約の名称や、対象となる疾病、損傷、治療、症状が若干異なります。
・個人年金保険でも、特約として下記のようなものを付加できるものがあります。

1 「ガン保険」「ガン特約」 〔ガンで入院したときに入院給付金などが受け取れるもの。ガン以外の成人病(脳血管疾患、心疾患、高血圧性疾患、糖尿病)で入院したときでも入院給付金が受け取れる「成人病(生活習慣病)特約」は除く。〕
2 「特定疾病保障保険」「特定疾病保障特約」 〔ガン、急性心筋梗塞、脳卒中の三大疾病により所定の状態になったとき、生前に死亡保険金と同額の特定疾病保険金が受け取れるもの。保険期間が一定期間の定期型と、一生涯の終身型があります。〕
3 「介護保険」「介護特約」 〔寝たきりや認知症によって介護が必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに、一時金や年金が受け取れるもの。〕
4 上記1～3のような保険ではない、あるいはそのような特約は付加していない

問3. 現在支払っているこの保険の保険料(掛金)を、1年分になおすといくらになりますか(ただし、頭金を利用して払った分は除いてお答えください。また、一時払いで支払われた場合や、現在支払われていない場合は、1を○で囲んでください)。

年間	千万	百万	十万	万	千円
	<input type="text"/>				
1 現在、支払っていない					

問4. それでは、病気で入院された場合、この保険で支払われる疾病入院給付金は、1日につきいくらになりますか。ただし、「ガンによる入院」、「成人病による入院」など特定の疾病による入院だけに限定して支払われる入院給付金は除いてお答えください(この保険で疾病入院給付金が支払われない場合は、1を○で囲んでください)。

1日につき	千	百	十	円
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
1 疾病入院給付金は支払われない				

問5. この保険はいつ加入されましたか。(○は1つ)
なお、下取り(転換)して加入し直した場合は、その時期をお答えください。

1	2	3	4	5	6	7
平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年 以前	わからない

